

# 平成 30 年度事業報告書

公益財団法人徳川黎明会

## I. 管理部門

### 1. 業務執行体制

本年度も、徳川美術館、徳川林政史研究所との連携・協調・協力に努め、円滑な法人事業活動に資すべく注力し、全般を統括した。本年度期首、徳川美術館学芸部に管理職 1 名を中途採用し、組織強化を図った。また、本年度期末に学芸部部長の依頼退職があり、さらに翌年度期中に管理部管理職の定年退職が続く見通しから、管理部門・学芸部門ともにさらなる組織強化を図るべく、人事計画を見直した。

### 2. 諸制度・諸規程見直し

平成 31 年度初頭に目途していた、諸制度の見直し、従業員就業規則、育児介護休業規程、定年退職者再雇用規程等をはじめとする諸規程改定・新設については、個別労働問題対応、顧問社会保険労務士事務所変更ほか、諸般の事情により若干進捗に遅れが生じたものの、翌年度期中の実現に向け準備を進めた。

### 3. 募金活動

前年度同様、徳川美術館、徳川林政史研究所と連携し、活動支援基金を広く募った。また、従来の寄附受付制度や管理運用体制について、徳川美術館を手始めに改善すべく、金融機関等への相談・情報交換を図りつつ、各種サービス導入の検討、現代的かつ合理的な体制に向けた具体的取り組みに着手した。

### 4. 監事監査

平成 30 年度会計・業務監査について、下記のとおり執り行われた。

日時： 令和 1 年 6 月 5 日 / 14 時 00 分より 15 時 50 分まで

場所： 当財団 / 本部会議室

対象： 会計、業務、理事の職務執行

### 5. 理事会・評議員会

#### (1) 理事会

##### ・ 第 1 回 (定時)

日時： 平成 30 年 6 月 8 日 / 13 時 00 分から 14 時 57 分まで

場所： 当財団 / 本部会議室

議案： 第 1 号議案 / 平成 29 年度事業報告について

第 2 号議案 / 平成 29 年度収支決算について

第 3 号議案 / 任期満了に伴う役員の改選について

第 4 号議案 / 平成 30 年度第 1 回定時評議員会開催について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

##### ・ 第 2 回 (臨時)

日時： 平成 30 年 6 月 28 日

議案： 第 1 号議案 / 代表理事・業務執行理事 (常務理事) の選定について

第 2 号議案 / 議決日について

結果： 全議案について、理事一同異議なく議決された (書面によるみなし決議)

##### ・ 第 3 回 (定時)

日時： 平成 31 年 3 月 22 日 / 14 時 00 分から 15 時 41 分まで

場所： 当財団 / 本部会議室

議案： 第 1 号議案 / 平成 31 年度事業計画について

第 2 号議案 / 平成 31 年度収支予算について

第 3 号議案 / 平成 31 年度資金調達及び設備投資について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

(2) 評議員会

・ 第1回（定時）

日時： 平成30年6月28日／14時00分より16時14分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第1号議案／平成29年度収支決算について

第2号議案／任期満了に伴う役員の改選について

結果： 全議案について、出席評議員一同異議なく議決された。

6. 官庁申請・届出・報告

・ 内閣府関係

下記について、電子申請システム（公益 Information システム）経由にて提出・報告した。

平成30年6月 平成29年度事業報告および決算報告

平成31年3月 平成31年度事業計画および収支予算

・ 労務関係

下記について、池袋労働基準監督署および名古屋北労働基準監督署に届出した。

平成31年3月 36 協定書

7. 役職員等の状況（平成31年3月31日現在）

(1) 役員等

評議員6名、役員8名、相談役2名、合計16名

① 評議員

職位	氏名	現職
評議員会長	田中 秀隆	(公財)三徳庵理事長
評議員	太田 宏次	(公財)東洋医学研究財団名誉理事長
評議員	小林 喬	富国生命保険(相)相談役
評議員	濱本 英輔	(株)ハーフ・センチュリー・モア顧問
評議員	原 俊夫	(公財)アルカンシエール美術財団理事長
評議員	室瀬 和美	(株)目白漆芸文化財研究所相談役

② 理事

職位	氏名	現職
代表理事（会長）	徳川 義崇	徳川美術館館長・八雲産業(株)代表取締役
常務理事	竹内 誠	徳川林政史研究所所長・東京学芸大学名誉教授
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
理事	小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
理事	徳川 斉正	(公財)徳川ミュージアム理事長
理事	前田 利祐	(公財)前田育徳会評議員

③ 監事

職位	氏名	現職
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所所長
監事	松平 頼昌	(学)本郷学園理事長

④ 相談役

職位	氏名	現職
相談役	竹内 順一	東京芸術大学名誉教授

相談役	竹田 憲央	八雲産業(株)常務取締役兼総務部長
-----	-------	-------------------

(2) 職員等

区分	常勤	非常勤	計
職員	25	0	25
雇員	4	0	4
嘱託	1	2	3
臨時	12	13	25
派遣	1	0	1
合計	43	15	58

(3) 協力者等

区分	常勤	非常勤	計
参与	0	9	9
特任研究員	0	15	15
非常勤研究員	0	12	12
非常勤研究生	0	7	7
非常勤学芸員	0	3	3
合計	0	46	46

## II.公益事業

### [公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

平成 30 年度、徳川美術館においては展示事業面で下掲の通り、本館展示室において 5 件の特別展、蓬左文庫展示室において 7 件の特別展および企画展（本館での特別展の一部としたもの 1 件を含む）を実施すると共に、新館名品コレクション展示室での特集展示、愛知デスティネーションキャンペーンと連動した国宝「源氏物語絵巻」の特別公開、例年の千利休「泪の茶杓」の特別公開などを実施した。特別展については、4 月～5 月に開催した春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化―明治宮廷を彩る技と美―」開催中に、皇太子殿下（当時、現、今上天皇陛下）の御行啓を賜り、また、彬子女王殿下に記念講演を賜ったことが特記される。什宝保存・修復事業としては、引き続き国宝「源氏物語絵巻」および国宝「初音の調度」の修理を国庫等からの助成を得て実施した。夏期の猛暑や、秋口の台風等の影響を受け、年央の数か月は来館者数の対前年比減少が見られたが、各般のサービス向上努力も相まって、10 月後半以降は順調な回復傾向が認められた。事業遂行の結果、平成 30 年度に来館者数は 222,513 名となり、前年度（217,310 名）に比し 2.4%増となると共に、当初想定（20 万名）をも上回るようになった。

#### 1. 美術品の展示・公開・保存・修理・収集

##### (1) 展示・公開

事業計画に基づき以下の展示・公開を行った。これにより①②③に記載した展示による平成 30 年度に来館者数合計は 222,513 名となった。

##### ① 名品コレクション展示室（新館第 1～第 5 展示室）

「名品コレクション展」として年間に 4 回大展示替えを行ったほか、約 1 か月毎に部分展示替えを実施。また、各展示室で以下の特集展示を行った。第 6 展示室では年度を通じ「国宝 源氏物語絵巻（複製）」及び同絵巻の解説（動画映像を含む）を展示した。特別展・企画展開催期間を除く新館展示室のみの開館日の来館者数は 8,998 名であった。

##### a. 4 月 3 日～7 月 1 日

6 月 6 日～7 月 1 日 雨を愉しむ 第 1～5 展示室

##### b. 7 月 3 日～9 月 24 日

8 月 1 日～8 月 28 日 狂言に触れる 第 4 展示室  
まいまい狂言会と共同企画（狂言和泉流野村又三郎家の狂言装束の展示）

##### c. 9 月 26 日～12 月 16 日

##### d. 1 月 4 日～3 月 24 日

1 月 4 日～1 月 29 日 火事装束 第 1 展示室

1 月 4 日～1 月 29 日 印籠・根付 第 5 展示室

##### ② 特別展・企画展（本館第 7～第 9 展示室）

事業計画に基づき以下の特別展・企画展を開催した。各展覧会の来館者数は下掲の通りであり、特別展企画展への来館者数合計は 180,700 名となった。

##### a. 4 月 17 日～5 月 27 日

春季特別展

「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 ―明治宮廷を彩る技と美―」(巡回展)  
名古屋市蓬左文庫共催展、CBC テレビ、中日新聞社、日本経済新聞社共催  
来館者数計 34,556 名

##### b. 7 月 21 日～9 月 2 日

特別展「名刀紀行 ―五箇伝巡り―」

読売新聞社共催

来館者数計 28,319 名

##### c. 9 月 9 日～10 月 28 日

秋季特別展「もじえもじ ―文字が絵になる、絵が文字になる―」

- 名古屋市蓬左文庫共催展、中日新聞社共催  
来館者数計 31,376 名
- d. 11月3日～12月16日 特別展「源氏物語の世界 ―王朝の恋物語―」  
中日新聞社共催  
来館者数計 38,556 名
- e. 1月4日～1月20日 特別展「東海毎日新春書展」  
毎日新聞社主催
- f. 2月9日～4月7日 特別展「尾張徳川家の雛まつり」  
中日新聞社共催  
来館者数計 41,498 名（3月31日まで）、48,103 名（4月7日まで）

③ 特別展・企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

名古屋市との協力の下、事業計画に基づき以下の特別展・企画展を行った。これらのうち a・c・d・e・g の各展覧会は上掲②a～f と同時開催のため、来館者数は同一であり、b・f の各展覧会の来館者数は下掲の通り、合計は 32,815 名であった。

- a. 4月17日～5月27日 春季特別展  
「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 ―明治宮廷を彩る技と美―」(巡回展)  
上記 1.(1)②a.に同じ
- b. 6月1日～7月16日 企画展  
「タイムスリップ 1918 大正の名古屋―米騒動絵巻に見る 100 年前のモダン都市―」  
特別公開「ユネスコ世界記憶遺産登録記念 朝鮮通信使と名古屋」  
来館者数計 21,871 名
- c. 7月21日～9月2日 企画展「英雄たちの戦国合戦」
- d. 9月9日～10月28日 秋季特別展「尾張藩邸物語」
- e. 11月3日～12月16日 企画展「徳川慶勝の幕末維新」
- f. 1月4日～2月3日 企画展「書は語る ―30 cmのエスプリー」  
来館者数計 10,944 名
- g. 2月9日～4月7日 企画展「ひなを楽しむ ―旧家のひな飾り―」

④ 特別公開（新館第3展示室、同第2展示室）

事業計画に基づき、例年通り以下の特別公開を実施した。

- a. 9月26日～12月16日 「重要文化財 純金台子皆具」
- b. 11月3日～12月16日 「国宝 源氏物語絵巻 関屋・絵合・柏木一・橋姫・竹河二・宿木二・宿木三・蓬生・横笛・早蕨・東屋一」
- c. 2月23日～3月3日 「千利休 泪の茶杓」

⑤ 特別観覧（茶室餘芳軒および山の茶屋）

以下の特別観覧を実施した。

- a. 徳川茶会（全9回9日間、参加者 2,400 名）  
10月6日,7日,8日,13日,14日,20日,21日,27日,28日
- b. 研究者等特別観覧（美術館収蔵庫、全 23 件）  
大学等学術・研究機関、外部美術館等からの要請に応じ、特別観覧を実施した。

⑥ 他館主催展覧会への収蔵品出陳

他館主催の展覧会に対し、奈良国立博物館「国宝 春日大社のすべて」展（4月14日～6月10日）、奈良国立博物館「糸のみほとけ」展（7月14日～8月26日）など合計 20 館、のべ 52 の収蔵品を出陳した。

⑦ 他館ほか所蔵者からの借用作品展示

各特別展・企画展をテーマに即し、合計 818 点の作品を借用し、展示した。

(2) 保存・修理・収集

① 保存・収集

a. 購入（普通美術品計 4 点）

- ・ 雲鶴図（下絵） 狩野永岳筆 一幅
- ・ 関ヶ原合戦岐阜城攻絵巻（下絵） 一卷
- ・ 諸葛亮・張良図 清野一幸筆 二幅
- ・ 元和御成記 松花堂昭乗筆 一卷

b. 受贈（普通美術品計 9 点）

- ・ 徳川義親肖像メダル 一枚
- ・ 緑褐釉水指 楽々園焼 一口
- ・ 赤楽茶碗（木守写し） 楽々園焼 一口
- ・ 赤楽ぶりぶり大香合 萩山焼 一口
- ・ 赤楽葵紋茶碗 萩山焼 一口
- ・ 瑠璃釉蒔絵印籠 楽々園焼 一具
- ・ 鳥の子皿 元和七年墨書銘 十枚
- ・ 華南三彩盤 宝暦年墨書銘 一枚
- ・ 能管 銘 瓦落 後水尾天皇下賜 一管

② 修理

以下の修理を実施した。

a. 基本美術品（計 2 件）

- ・ 国宝 源氏物語絵巻 関屋・絵合・柏木（一）・早蕨・東屋（一）  
国宝重要文化財等保存整備費補助金（国庫補助事業）による修理（平成 28 年度より 4 か年継続）
- ・ 国宝 初音蒔絵調度 書棚  
住友財団助成金「文化財維持・修復事業助成」による修理

b. 普通美術品（計 5 件）

- ・ 古天明釜 銘 梶
- ・ 花唐草文蒙流仕覆（瀬戸夏山春慶茶入 附属）
- ・ 間道仕覆（唐物筋釣付茶入 附属）
- ・ 紅地雷文・四川花菱文厚板
- ・ 紫地二葉葵文金襴単狩衣

(3) 収蔵品撮影（館内）

各展覧会のための広報用及び図録作成に必要な撮影を合計 164 件 320 カット分行った。また、徳川茶会参加者向けの作品紹介ビデオ（20 点分）を作成した。

2. 調査・研究

(1) 美術館における調査・研究

事業計画に基づき、学芸部において、以下の研究を行った。

課題（開始年度）

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| ・ 館蔵品悉皆調査（昭和 63 年度）              | 担当<br>学芸部共同 |
| ・ 尾張徳川家御道具帳のデータベース化（平成 27 年度）    | 学芸部共同       |
| ・ 尾張徳川家関係寺社蔵品調査（昭和 58 年度）        | 学芸部共同       |
| ・ 尾張徳川家に関連する建中寺所蔵什宝の調査（平成 20 年度） | 学芸部共同       |
| ・ 古代・中世の料紙装飾の系譜（昭和 60 年度）        | 四辻 秀紀（部長）   |
| ・ 歌絵・物語絵の研究（平成 3 年度）             | 四辻 秀紀（部長）   |

- ・ 徳川将軍家と尾張徳川家の研究（平成 19 年度） 原 史彦（部長代理）
- ・ 戦国合戦図の総合的研究（平成 20 年度）<sup>※1</sup> 原 史彦（部長代理）
- ・ 大名家における絵師の絵画活動についての研究（平成 6 年度） 吉川 美穂（マネージャー）
- ・ 尾張における画家の活動について―田中訥言を中心に―（平成 11 年度） 吉川 美穂（マネージャー）
- ・ 武家女性の生活史の研究（平成 29 年度） 吉川 美穂（マネージャー）
- ・ 日蘭貿易に関する舶載陶磁器と倣国産陶磁器（阿蘭陀焼）の調査研究 長久 智子（マネージャー）
- ・ 中近世「唐物」及び「阿蘭陀」に関する工芸品の調査研究 長久 智子（マネージャー）
- ・ 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について（平成 8 年度） 並木 昌史（学芸員）
- ・ 有職装束の研究および松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査（平成 10 年度） 並木 昌史（学芸員）
- ・ 渡来織物の調査研究（平成 29 年度） 並木 昌史（学芸員）
- ・ 近世狩野派の研究（平成 24 年度） 薄田 大輔（学芸員）
- ・ 戦国合戦図の総合的研究（平成 18 年度）<sup>※1</sup> 薄田 大輔（学芸員）
- ・ 江戸初期絵画の研究（平成 24 年度） 加藤 祥平（学芸員）
- ・ 尾張徳川家茶頭の研究（平成 28 年度） 加藤 祥平（学芸員）
- ・ 愛知県における仏教絵画の研究（平成 25 年度） 安藤 香織（学芸員）
- ・ 高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相（平成 26 年度）<sup>※2</sup> 安藤 香織（学芸員）
- ・ 近世狩野派を中心とした図様継承と  
絵画制作システムに関する研究（平成 29 年度）<sup>※3</sup> 安藤 香織（学芸員）

<sup>※1</sup> 東京大学史料編纂所特定共同研究

<sup>※2</sup> 科学研究費助成事業（奈良国立博物館主任研究事業）の分担研究者として

<sup>※3</sup> 科学研究費助成事業（東京国立博物館主任研究事業）の分担研究者として

(2) 徳川林政史研究所との連携による研究（前年度より継続）

① 以下の各項の研究を引き続き行った。

- ・ 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ・ 尾張徳川家関連古写真資料に関する基礎調査・研究

② 以下の展覧会において林政史研究所所蔵の史料を展示した。

- ・ 展覧会名：「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 ―明治宮廷を彩る技と美―」  
借用史料名：浅草瓦町邸 外観写真ほか 4 点
- ・ 展覧会名：「尾張藩邸物語」  
借用史料名：登城道筋之図ほか 22 点

③ 歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川林政史研究所研究員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

(3) 尾張徳川家伝来「裂」類の共同調査の推進

徳川美術館所蔵「裂」類の悉皆調査を継続した。

(4) 収蔵品データベースの整備（前年度より継続）

以下の各項を継続実施した。

- ・ 調書作成・入力
- ・ 写真データ作成・入力
- ・ 展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力
- ・ リスト・キャプションの作成

(5) 研究用図書類の整備

① 図書（購入計 109 冊、受贈計 269 冊）

以下の書籍等を購入した。

『尾州名児屋金城下御主意御諭書』（史料）、『大漢和辞典 デジタル版』（大修館書店）、『堀川国広とその弟子』（佐藤貫一編／伊勢寅彦）、『大嘗会記』（古書）、『永青文庫叢書 細川家文書 熊本藩役職編』

(吉川弘文館)、『史料纂集 古記録編』(八木書店)、『大日本史料』(東京大学出版会) ほか  
以下の書籍等を受贈した。

『尊経閣善本影印集成』(八木書店)、『豊臣秀吉文書集』(吉川弘文館) ほか

② 雑誌(購入計 244 冊、受贈多数)

以下の雑誌を購入した。

『國華』(國華編集委員会編/國華社)、『美術史学研究』(韓國美術史學會)、『文物』(文物編集委員会/  
文物出版社)、『故宮學術季刊』(國立故宮博物院) などの定期購読ほか

以下の雑誌を受贈した。

『茶道の研究』(大日本茶道学会/三徳庵)、『美術研究』(東京文化財研究所)、『MUSEUM』(東京国立  
博物館)、『茶の湯文化学』(茶の湯文化学会) ほか

(6) 研究成果の公開・公刊

以下の通り、研究成果を公開・公刊した。

① 定期研究発表会

6月10日(第73回)	尾張徳川家伝来「即位之記」について	並木 昌史
3月23日(第74回)	戯画図巻を読み解く	加藤 祥平

② 図録、研究紀要等

a. 特別展図録作成

- ・ 特別展「名刀紀行 一五箇伝巡り一」「徳川美術館所蔵 刀剣・刀装具」  
徳川美術館の刀剣・刀装具 並木 昌史  
文政年間における刀剣蔵帳の分類・編成について 安藤 香織  
作品解説 並木 昌史・安藤 香織
- ・ 秋季特別展「もじえもじー文字が絵になる、絵が文字になる一」  
葦手と歌絵の系譜 四辻 秀紀  
絵の中の字ー作詩字図をめぐるー 加藤 祥平  
江戸のもじえもじ横断 吉川 美穂

b. 外部提携図録

春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 一明治宮廷を彩る技と美一」  
作品解説 四辻 秀紀・原 史彦  
並木 昌史・薄田 大輔

c. 金鯨叢書第 46 輯の編集・刊行

徳川美術館蔵「豊国祭礼図屏風」の注文主ー棧敷に坐る武士の姿と蜂須賀家政の肖像画ー  
黒田日 出男  
狩野常信様式の成立についてー「吉野図屏風」(徳川美術館蔵)の紹介をかねてー  
薄田 大輔  
徳川美術館所蔵ドイツ製塩釉灰色藍彩炆器「印花人物文阿蘭陀焼手付水指」  
ー大名道具の「阿蘭陀」としての視座からー 長久 智子  
徳川美術館の美術品疎開 香山 里絵

(7) 美術館だより「葵」の編集・発行(年度内 4 回)

下掲のエッセイを含む「葵」を編集・発行した。

4月(第106号)

エッセイ「明治の皇室と美術品制作」 太田 彩 氏(宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官)

7月(第107号)

エッセイ「名工長曾祢虎徹のこと」 小笠原 信夫 氏(東京国立博物館名誉館員)

9月(第108号)

エッセイ「優美からポップへー《ことばと絵》のあそびの系譜」

玉蟲 敏子 氏 (武蔵野美術大学教授)

1月 (第109号)

エッセイ「美術館活動の原点」

田中 仙堂 氏 (大日本茶道学会会長)

(8) 大名道具収蔵館研究会 (平成4年度より継続)

引き続き下掲の研究会に参加した。

1月21日 第25回研究会 (於、彦根城博物館)

### 3. 教育・普及

#### (1) 特別展記念講演会

4月28日 昔語りは珠匣のごとくー平成に伝えられる明治の皇室文化ー

彬子女王殿下

6月17日 名古屋市を描くー米騒動絵巻とその時代ー

ロバート・エスキルドセン 氏 (国際基督教大学上級准教授)

7月29日 刀剣五箇伝の魅力

渡邊 妙子 氏 (佐野美術館館長)

9月9日 日本美術にみることばと絵の交響

玉蟲 敏子 氏 (武蔵野美術大学教授)

9月16日 豊国祭礼図と舟木本洛中洛外図の謎解き

黒田 日出男 氏 (東京大学名誉教授)

11月3日 特別対談「国宝 源氏物語絵巻の修理を通して見えてきたもの」

大山 昭子 氏 (岡墨光堂修復部長)・四辻 秀紀

#### (2) 記念講座

5月12日 宮中晩餐会とボンボニエール

長佐古 美奈子 氏 (学習院大学史料館学芸員)

5月13日 華ひらく皇室文化ー明治天皇と昭憲皇太后が愛でた美術品

小松 大秀 氏 (永青文庫館長)

8月11日 <英雄たちの戦国合戦>記念シンポジウム 大坂冬の陣図屏風を読む

千田 嘉博 氏 (奈良大学教授)

平 諭一郎 氏 (東京藝術大学特任准教授)

木下 悠 氏 (凸版印刷株式会社)

薄田 大輔

11月23日 幕末明治150年を迎えてー幕末尾張藩の描かれ方 大河ドラマ『西郷どん』を例にー

大石 学 氏 (東京学芸大学名誉教授)

2月24日 茶道具と人ー利休茶杓「泪」を手掛かりにー

千 宗屋 氏 (武者小路千家15代家元後嗣)

#### (3) 土曜講座「大名の生活と文化」

4月21日 尾張徳川家名宝の伝来を紐とく

四辻 秀紀

5月19日 幕末から明治の美術をめぐる環境

薄田 大輔

6月9日 米騒動絵巻にみる大正の名古屋

木村 慎平 氏 (蓬左文庫学芸員)

7月28日 戦国武将の手紙

鳥居 和之 氏 (蓬左文庫長)

8月25日 戦国武将が愛した刀剣

並木 昌史

9月15日 尾張藩邸物語

原 史彦

11月10日 源氏物語の世界ー国宝源氏物語絵巻の修復を中心にー

四辻 秀紀

12月1日 幕末維新と写真術

加藤 祥平

- 1月19日 書のスタイルー懐紙・短冊・色紙の遺墨を通してー  
四辻 秀紀
- 3月9日 福君の婚礼と雛道具  
吉川 美穂
- (4) 秋期講座「もじえもじー文字が絵になる、絵が文字になるー」
- 9月26日 絵と文字による和歌の表現ー歌絵と葦手ー  
四辻 秀紀
- 9月26日 書を絵のように読み解く  
笠嶋 忠幸 氏 (出光美術館学芸課長)
- 9月27日 刀剣の文字に込められた人びとの思いー丹生都比売神社葦手絵兵庫鎖太刀を中心にしてー  
酒井 元樹 氏 (東京国立博物館主任研究員)
- 9月27日 江戸の文字あそび 絵あそび  
吉川 美穂
- (5) 徳川林政史研究所による古文書入門講座「文化・文政期の社会」(土曜日午後開講)
- 6月16日 寛政の幕政改革と九代藩主宗睦  
竹内 誠 (所長)
- 6月23日 寛政改革期における隠密活動の実際  
深井 雅海 (副所長)
- 6月30日 藩政改革と名君の群像  
萱場 真仁 (非常勤研究員)
- 7月7日 尾張家の御家相続事情ー宗睦から愷千代へー  
白根 孝胤 (特任研究員)
- 7月14日 飛騨幕領の林政改革  
芳賀 和樹 (研究員)
- 7月21日 戸山下屋敷をめぐる人間模様  
藤田 英昭 (研究員)
- (6) 徳川林政史研究所による江戸学講座「激動の幕末」(土曜日午後開講)
- 11月17日 それぞれの幕末維新ー高須四兄弟の生き方ー  
竹内 誠
- 12月8日 『江戸城請取顛末』からみた江戸開城  
深井 雅海
- 1月26日 写真が語る徳川慶勝の幕末明治  
白根 孝胤
- 2月9日 慶応三、四年の尾張藩  
藤田 英昭
- (7) 刀剣講座 (日曜日午後開講)
- 7月22日 日本刀 五ヶ伝の名刀 見どころを中心に  
福井 款彦 氏 (熱田神宮文化研究員)
- 8月5日 尾張柳生家の剣術 解説と演武  
柳生 耕一巖信 氏 (柳生新陰流兵法 22 世宗家)
- (8) ギャラリー・トーク
- 6月21日 タイムスリップ 1918  
木村 慎平 (名古屋市蓬左文庫学芸員)
- 7月1日 タイムスリップ 1918  
木村 慎平
- 7月27日 名刀紀行  
並木 昌史
- 8月7日 英雄たちの戦国合戦  
薄田 大輔
- 8月11日 名刀紀行  
並木 昌史
- 8月18日 英雄たちの戦国合戦  
薄田 大輔
- 9月15日 尾張藩邸物語  
原 史彦
- 10月10日 尾張藩邸物語  
原 史彦
- 10月17日 もじえもじ  
吉川 美穂
- 11月9日 源氏物語の世界  
四辻 秀紀
- 11月18日 徳川慶勝の幕末維新  
加藤 祥平
- 12月5日 徳川慶勝の幕末維新  
加藤 祥平
- 1月12日 書は語る  
四辻 秀紀
- (9) 特別展・企画展関連企画
- 5月3日～5日 ゴールデン・ウィーク特別企画「戦国武将なりきり体験」
- 7月21日～9月2日 英雄たちの戦国合戦関連企画 特別上映「大坂冬の陣 陣風」
- 1月4日 新春揮毫  
加藤 裕 氏 (毎日書道会評議員)

- 2月16日・17日・21日 尾張徳川家の雛まつり展企画 姫君満喫プラン
- 2月23日 尾張徳川家の雛まつり展企画 オリジナル香袋・文香をつくる
- 2月28日 尾張徳川家の雛まつり展企画 子どもとお母さんの雛まつりツアー
- 3月2日 尾張徳川家の雛まつり展企画 目で見る雛まつり十二単着装公開（2回）
- (10) 組香体験（個人向け）
- 6月20日・22日・24日 名品コレクション展示室「雨を愉しむ」企画  
「和の香りを楽しむ 組香ー小草香ー」
- 12月2日・6日・8日 「和の香りを楽しむ 組香ー水鳥香ー」
- (11) 土曜子ども教室の開催（小中学生向け教育・普及、※小中高生の観覧料は無料）
- ① 土曜子ども教室
- 4月7日～3月30日（45日間）
- 毎週土曜日、1日3回、各約60分、小学校・中学校の児童及び生徒を対象に実施、美術の紹介、「今月のポイント」（月替わりで収蔵品を紹介）、「体験タイム」（月替わりで大名文化を体験）、名品コレクション展示室で展示解説を実施
- 参加者計1,321名（子ども878名、大人443名）
- ② 体験学習・校外学習の受け入れ
- a. 体験学習
- 貝あわせ、刀解体組立、火縄銃に触れる、甲冑着装、子ども出世すごろく等を体験後、館内を見学
- 小学校2校、参加者計83名
- 中学校4校、参加者計461名
- 高校2校、参加者計44名
- 大学法人7校（留学生含む）、参加者計109名
- 団体3件、参加者計90名
- b. 校外学習
- 美術館紹介と作品解説。
- 小学校2校、参加者計36名
- 中学校3校、参加者計37名
- 高校1校、参加者計117名
- 大学1校、参加者計51名
- c. 出張教室
- 名古屋市立小中学校社会科部会、参加者計20名
- (12) 夏休み子ども特別企画
- 8月1日～8月31日
- ギャラリー・クイズ、歴史教室、歴史体験教室、自由研究を開催し、名古屋市立小学校および中学校などにポスター（500枚）を配布した。
- ギャラリー・クイズ、参加者計1,650名
- 小学生および中学生の歴史教室「信長・秀吉・家康 戦国合戦」、参加者計933名
- 歴史文化体験「遊んで作ろう、貝あわせ」、参加者計489名
- 自由研究（8月8日・9日）、参加者計38名
- (13) 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラム・セミナー
- 7月25日 参加者計3名
- (14) 名刀スタンプラリー
- 4月3日～3月24日（年間を通じ随時） 6回以上の参加者計484名（全回参加者171名）
- (15) 中高生・大学生の職場体験の受け入れ（インターンシップ）
- ① 職場体験

中学校 2 校、高校 1 校 参加者数計 9 名、教諭 1 名を受け入れた。

② 職場訪問

中学校 2 校、参加者計 12 名を受け入れた。

(16) 学芸員実習の受け入れ

5 月 15 日～5 月 19 日 博物館経営に関する講義および体験（於、館内各施設）、学生 8 名参加

(17) 古美術相談会

原則として毎月第 1 土曜日の午後開催（本年度 2 回開催）、相談件数計 2 件

その他、写真郵送等による相談件数計 16 件

(18) 名曲講座

4 月 22 日 レクチャーコンサート[華ひらく明治の西洋音楽]

セントラル愛知交響楽団メンバーによる演奏とお話

ソプラノ：加藤 恵利子氏・お話：山本 雅士 氏

(19) 館外見学会の実施

10 月 24 日（第 59 回） 北近江・戦国武将のゆかりの地を巡る 37 名

11 月 29 日（第 60 回） 香雪美術館・白鶴美術館 32 名

(20) 館長講演活動

5 月 11 日 演題「尾張徳川家と国宝源氏物語絵巻」

於、クラブ東海 徳川 義崇

11 月 18 日 演題「文化を守る」～尾張徳川当主、徳川家の文化について語る～

於、福井ライオンズクラブ 徳川 義崇

12 月 5 日 演題「文化を守る」

於、三越伊勢丹旅行 徳川 義崇

(21) 出講・受嘱

① 出講

学芸員計 8 名が、合計 15 の大学の講座等に出講した。

② 受嘱

学芸部員計 7 名が、文化庁、愛知県、大学等、合計 14 件の専門委員、研究員等の委嘱を受け、必要業務を遂行し、外部機関からの依頼にもとづき、随時職員を派遣した。

(22) 協賛事業

① 第 97 回名古屋市文化史教室（事業提携）

夏休み子ども教室を名古屋市と共催

② 演奏会

4 月 1 日 チャン・ビン 氏（二胡）

③ やっとかめ文化祭特別企画 対談「徳川慶勝が見た幕末と尾張」

11 月 4 日 奥山 景布子 氏（小説家）・原 史彦

④ 「文化のみち雛めぐりスタンプラリー」

2 月 2 日～3 月 10 日

名古屋文化遺産活用実行委員会「文化遺産を活かした地域活性化事業」

文化のみち 6 施設と連携し、各施設で雛祭り関連を企画、パスポート 10,000 部配布

参加者数計 10,074 名

⑤ 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

2 月 2 日～3 月 10 日

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ

(1) 賛助会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

- ・ 1年間の無料入館
- ・ 企画展・特別展内覧会を開催  
各企画展・特別展の開催日前日に賛助会員内覧会を開催（図録がある場合は無料配布）
- ・ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
- ・ 特別鑑賞会および懇親会の開催（11月11日）
- ・ 見学会（国内の史跡・特別展等）の実施
- ・ 茶会、ショップ商品等の割引

本年度の会員数推移は以下のとおりとなった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
個人	110	12	5	117	+7
家族	21	1	5	17	▲4
法人	51	2	0	53	+2
合計	182	15	10	187	5

(2) 友の会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

- ・ 一般会員・情報会員向け美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
- ・ 一般会員向け1年間の無料入館制度（ただし、従来特別展の観覧は1回目のみ無料、2回目以降は一般料金を適用してきたところ、平成18年4月以降は、2回目以降の観覧について割引料金（団体料金）を適用している。）
- ・ 一般会員向けのショップでの割引
- ・ 他館との連携による各々の会員向け相互観覧料割引

本年度の会員数推移は以下のとおりとなった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
一般	557	143	160	540	▲17
情報	22	3	8	17	▲5
合計	579	146	168	557	▲22

※ 一般会員のうち、22名が半期入会（4,320円）の会員

(3) 大学メンバーシップ会員向け優待

- ・ 対象大学の学生（一部対象大学は教職員も含む）の無料入館
- ・ 対象大学への展覧会ポスター・ちらし、イベント案内等の配布、掲示
- ・ 新規発行図録の寄贈

本年度、名古屋経済大学が学生・教職員ともに新規加盟し、年度末の加盟校は以下の28校となった。  
愛知学院大学、愛知学院大学短期大学部、愛知学院大学歯科技工専門学校、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、桜花学園大学、名古屋短期大学、金城学院大学<sup>※</sup>、椋山女学園大学<sup>※</sup>、中京大学、中部大学、東海学園大学、同朋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋外国語大学、名古屋芸術大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋造形大学、名古屋大学、名古屋文化短期大学、名古屋ファッションビューティー専門学校、南山大学、名城大学<sup>※</sup>

※印以外の大学法人等は教職員も加入

5. 管理

(1) 観覧料金

前売りペアチケットの導入

団体（20名以上）料金適用に至らない人数のグループに対しても前売りでの一括購入の場合には割引料

金を適用することによって、来館者向けサービス提供と誘致を行うこととし、適用対象とする特別展を「華ひらく皇室文化ー明治宮廷を彩る技と美」、「もじえもじー文字が絵になる、絵が文字になるー」（以上 2 件は名古屋市蓬左文庫との共催展）、及び「尾張徳川家の雛まつり」として、会期前の一定期間、チケットぴあ、コンビニエンスストアで 2 枚 2,300 円（即ち 1 枚分 1,150 円）のチケットを販売することとした。

(2) ゴールデン・ウィークおよびお盆時期の月曜日開館

以下の連休中の月曜日を開館日とし、観覧の需要に対応した（翌火曜日も開館した）。

5月1日、8月13日

(3) 広報

- ① 展覧会内容に即した一層効果的な広報戦略を推進する準備として、日経リサーチ(株)に来館者実態調査を依頼し、来館者アンケート、WEBアンケートを実施した。
- ② ポスター・ちらしのデザイン性を高め、より効果的ツールへと改善するため、「尾張徳川家の雛まつり」にて、当館初となる印刷物デザインコンペを導入した。
- ③ 各特別展・企画展および特別公開、教育普及プログラムの講演会、講座、教室、特別企画、その他のイベント等について、会員向け機関紙「葵」に掲載するとともに、ホームページ、Facebook、Twitterへの情報掲載も実施した。
- ④ その他、本年度は広報効果向上の視点から以下を実施した
  - ・ 皇太子殿下御来館に際した報道対応
  - ・ 名古屋港水族館とのコラボレーション企画「鯀の尾ってどんな尾？2」開催
  - ・ 愛知デスティネーションキャンペーンを利用した無料広報露出の強化
  - ・ 愛知県・名古屋市が主催する各種プレスツアーの特別対応
  - ・ MOZO ワンダーシティにおける徳川美術館 PR ブースの出展
- ⑤ 平成 30 年度のメディアによる取材は以下のとおりであった。

展覧会等	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌等
華ひらく皇室文化（行啓含む）	4	6	0
タイムスリップ 1918	3	0	0
名刀紀行・英雄たちの戦国合戦	5	4	1
もじえもじ・尾張藩邸物語	4	1	3
源氏物語の世界・徳川慶勝	6	1	11
書は語る	2	0	2
尾張徳川家の雛まつり	1	4	2
合計	25	16	19

⑥ 本年度の大型テレビ企画の取材は以下の通りであった（特に特別展・企画展等のニュース報道は随時）

- ・ NHK「探検バクモン」
- ・ TBS「世界ふしぎ発見！」
- ・ 三重テレビ「宝刀～日本人の魂と技」シリーズ
- ・ BS11「フランス人がときめいた日本の美術館」

⑦ 有料広告として以下の掲示・掲載を行った。

キラッ都ナゴヤ（毎月）、名古屋アートニュース（隔月）、大曽根駅南口看板（常設）、大曽根駅北口看板（常設）、電柱看板（常設）

(4) 営業

- ① 団体利用促進のための活動として以下を行った。
  - ・ 旅行会社への働きかけ（関東、近畿、北陸、東海の大手旅行社・バス会社）
  - ・ 教育旅行誘致活動（大阪・京都市内の小学校および教育旅行取扱の旅行会社への営業活動）

- ・ 夜間開館・休館日貸切開館の実施（利用実績：夜間 2 件 159 名、休館日 1 件 982 名）
- ・ 館内施設の貸出（利用実績、茶室 1 件、講堂 3 件）
- ・ 名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- ・ 大学メンバーシップのルートを使用して展覧会等の情報提供を実施
- ・ 愛知デスティネーションキャンペーンに伴う旅行会社との割引優待等の実施

② 個人来館者利用促進のための活動として以下を行った。

- ・ 旅行会社への広報宣伝協力要請  
各旅行会社の個人旅行向けパンフレットに情報掲載（JTB、近畿日本ツーリスト、JR 東海）  
愛知デスティネーションキャンペーンに伴う特集パンフレットへの掲載
- ・ 前売券の販売促進  
百貨店友の会 4 店舗で販売を実施（利用実績：1,367 枚）  
チケットぴあ、ローソンチケット、プレチケにて前売券を販売（利用実績：3,618 枚）  
福利厚生クラブ（RELO CLUB）にて入館券の割引き提携開始
- ・ 近隣の地域・施設・組織との連携  
近隣商店街との連携（駅から道沿いの店舗でポスターの掲示）  
瀬戸市観光協会と雛まつり展の相互 PR 連携  
JR・地下鉄のウォーキング時のちらしに割引券を掲載
- ・ 各団体と連携したスタンプラリーを実施  
名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施（4 月、9 月）  
愛知県観光協会と産業観光スタンプラリーを実施（6 月）  
愛知・岐阜広域観光推進協議会の「見にトリップ・戦トリップ」スタンプラリーを実施（7 月～2 月）  
JAF とタイアップした武将観光スタンプラリー（7 月～9 月）

③ 閉館後・休館日等における時間外の利用誘致

時間外貸出し、計 3 件（計 1,041 名）

(5) ボランティアの会

① 会員数推移は以下のとおりであった。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
会員数	336	324	356	320	285

公募ボランティアにより、展示室内監視業務および以下の解説業務に活動いただいた。

- ・ 平日の解説
- ・ 土曜日・日曜日・祝日の展示解説
- ・ 土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習又は団体学習
- ・ 申込み団体への解説  
概要解説 99 件、4,752 名  
体験講座（組香・貝あわせ）－日本の伝統文化にふれる－ 40 件、951 名  
その他、学芸部・管理部業務支援として 1 名、特別専任ボランティアとして 17 名、講座等題字作成に 1 名、館内生け花に 1 名のボランティアに活動いただいた。

② 行事として以下を実施した。

- 3 月 16 日 懇親会（参加者数計 163 名）
- 3 月 16 日 ボランティア定年御礼会（対象者数計 10 名、参加者数計 6 名）

③ 各展示会の解説研修を行ったほか、以下の研修を実施した。

- 2 月 7 日 新規受付ボランティア研修

(6) 徳川美術館運営懇話会

9 月 11 日、徳川美術館貴賓室において、河村 たかし 氏（名古屋市長）、三矢 誠 氏（トヨタ自動車(株)顧問）、小笠原 剛 氏（(株)三菱東京 UFJ 銀行常任顧問）、徳川 義崇（(公財)徳川黎明会代表理事・

徳川美術館館長)の出席下、第27回目として開催され、委員交代が承認されるとともに、徳川美術館の展示実績、入館者数、展示計画が報告され、美術館運営についての質疑応答と意見交換が行われた。

(7) 徳川園各施設関係会議

1月24日、徳川美術館会議室において、徳川美術館、徳川園、名古屋市蓬左文庫、宝善亭、ショップ葵、ガーデンレストラン徳川園で構成する徳川園各施設による本会議が開催され、皇太子殿下行啓、名古屋城との連携、愛知県観光デスティネーションキャンペーンの結果、平成30年度文化庁補助事業への予算要望の結果、ゴールデン・ウィーク10連休への対応、台風等による休業、平成30年度事業進捗状況と平成31年度事業計画等について報告が行われるとともに各施設の今後の一層の連携について意見交換が行われた。

(8) 他館・博物館との連携

私立美術館会議、日本博物館協会、愛知県博物館協会等の諸活動への参加

(9) 地域との連携

「文化遺産を活かした地域活性化事業」(名古屋市文化遺産活用実行委員会主催)への参加

(10) 施設・設備の保守点検・営繕

- ・館内施設・設備について、館内共用部照明LED化、非常放送設備取り替え、空調機中性能フィルター取り替え、パッケージエアコン室外機保全、新館屋上防水工事等の保全を実施した。
- ・庭園整備については敷地内と周辺民家に隣接する樹木の一部伐採等を行った。
- ・茶室整備については茶会用の簡易通路の保全、山の茶屋水屋の改修を実施した。

(11) 国庫補助金による事業

上記1.(2)②a.に記載

(12) 民間助成金による事業

上記1.(2)②a.に記載

(13) 活動支援基金による事業

① 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川美術館の実施事業を対象にした募金活動を行った。本年度の実績は、以下のとおりである。なお、本年度は、寄附受付制度の利便性を高めることにより、寄附機会の増加を目指すべく、金融機関と連携し、検討を重ねた結果、口座振替による定額自動引落し、クレジットカード利用の2点の実施に向け、他寄附制度との整合性を調整しながら企画立案した。

- ・公募期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
- ・受付結果 14,946,377円(法人6件(1,700,000円)、個人50件(13,210,000円)、募金箱36,377円)

② 寄附金の使途

活動支援基金事業として、以下の美術品の修復・補修に使用した。

- ・古天明釜 銘 梶
- ・花唐草文蒙流仕覆(瀬戸夏山春慶茶入附属)
- ・間道仕覆(唐物筋釣付茶入附属)(継続)
- ・紅地雷文・四川花菱文厚板
- ・紫地二葉葵文金欄単狩衣

③ 感謝状の贈呈

高額寄附者(個人30口以上、法人10口以上)に対し、感謝状を贈呈(個人会員4名、法人会員1社)。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・教育・普及事業（徳川林政史研究所）

平成 30 年度、徳川林政史研究所では、前年度に引き続き、所蔵史料である尾張徳川家文書の整理・研究・公開を進めるとともに、公益財団法人犬山城白帝文庫などに出張調査し、尾張藩関係史料を集積した。また、本年度より林政史アーカイブス調査の一環で、岐阜県中津川市加子母地区の林政史関係史料の整理・調査に着手し、調査史料に基づき江戸時代の森林管理に関する研究を進めた。ほかにも岐阜県歴史資料館所蔵林政史関係史料の一部を公開するなど、他機関との連携も推進した。これらの活動には人材養成のための助成金を活用し、若手研究者を各種調査・研究に積極的に参加させ、その育成に努めた。なお、当研究所の活動に対する寄付公募に本年度も 380,000 円の支援基金が寄せられ、これを活用して史料の補修を実施し、併せて新たに史料を購入した。

1. 調査・研究

(1) 研究

課題（開始年度）

担当

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| ・ 近世材木商の研究（平成 11 年度）             | 竹内 誠（所長）            |
| ・ 名古屋城の構造と儀礼に関する研究（平成 27 年度）     | 深井 雅海（副所長）          |
| ・ 尾張藩幕末維新史の研究（平成 24 年度）          | 藤田 英昭（研究員）          |
| ・ 尾張藩林政史の研究（平成 30 年度）            | 芳賀 和樹（研究員）          |
| ・ 近世弘前藩の山林支配に関する研究（平成 26 年度）     | 萱場 真仁（非常勤研究員）       |
| ・ 近代山村史の研究（平成 26 年度）             | 加藤 衛弘（筑波大学教授・特任研究員） |
| ・ 近世山村の猟師に関する研究（平成 30 年度）        | 栗原 健一（非常勤研究員）       |
| ・ 尾張藩における美濃国山林支配に関する研究（平成 30 年度） | 田原 昇（非常勤研究員）        |
| ・ 尾張藩祖徳川義直の研究（平成 30 年度）          | 川島 孝一（非常勤研究員）       |

(2) 徳川美術館との連携

① 尾張徳川家関連史料調査

12 月 7 日（第 1 回）

2 月 9 日（第 2 回）

② 古文書講座・江戸学講座へ講師派遣

③ 展覧会への史料出陳

- ・ 展覧会名：「尾張藩邸物語」

会期：9 月 9 日～10 月 28 日

出陳資料名：熱田東御殿指図ほか 23 件

- ・ 展覧会名：「徳川慶勝の幕末維新」

会期：11 月 3 日～12 月 16 日

出陳資料名：徳川慶勝肖像ほか 67 件

その他、歴代当主の事績や年譜、尾張藩政に関する情報を共有するなど、徳川美術館学芸員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

(3) 研究成果の公開・公刊

① 研究会の開催

- |             |                       |       |
|-------------|-----------------------|-------|
| ・ 11 月 2 日  | 徳川林政史研究所              |       |
|             | 寛政改革期における弘前藩林政の展開と模索  | 萱場 真仁 |
|             | 近世後期における山村の地域議定       | 栗原 健一 |
| ・ 12 月 3 日  | 徳川林政史研究所              |       |
|             | 幕末政局における徳川慶勝の動向と政治的立場 | 藤田 英昭 |
| ・ 12 月 27 日 | 徳川林政史研究所              |       |

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 尾張藩の植林政策と「三浦・三ヶ村御山守」 | 芳賀 和樹 |
|----------------------|-------|
- ② 『金鯨叢書』第46輯（『研究紀要』第53号）の公刊
- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 江戸幕府「年頭御礼」の仕組みと格式          | 深井 雅海 |
| 近世後期の林業・営農からみた山村の経済危機（中の二） | 大崎 晃  |
| 尾張藩の造林政策と「三浦・三ヶ村御山守」       | 芳賀 和樹 |
| 寛政改革期の弘前藩林政と山方・郡方の対立       | 萱場 真仁 |
| 幕末期尾張藩の年中行事と忌日             | 山本 英二 |
| 文久・元治期における徳川慶勝の動向と政治的立場    | 藤田 英昭 |
- [活動報告]
- 平成三〇年度の調査・研究・普及活動
- [所蔵史料目録]
- 徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（十五）
- 徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録（十二）
- ③ 『金鯨叢書』第45輯（『研究紀要』第52号）寄贈・送付業務
- 印刷部数 560 冊（うち、寄贈・交換 529 冊）
- （※『研究紀要』昭和 46・47・49・52・54・57～62 年度、同上 23～26・28～48 号、『金鯨叢書』42～44 輯を各 1 冊ずつ寄贈）
- ④ 所蔵史料の編集・刊行
- 『源敬様御代御記録 第四』の編集
- (4) 「尾張徳川史」編纂準備
- ① 『源敬様御代御記録』編纂・刊行のための研究会を開催（7 回）
- ② 「泰心院様（綱誠）御代・公辺・御家御日記」・「円覚院様（吉通）御代・公辺御日記」（旧蓬左 143-5）のデータベース作成作業を実施
- ③ 「瑞龍公実録」（旧蓬左 138-16）・「瑞龍公御代奉書并御書付類写」（旧蓬左 139-78）の筆耕・解読作業を実施
- (5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究
- 古写真史料の研究に資するため、引き続きガラス板古写真のデジタルデータ化を実施
- (6) 史料調査
- ① 林政史アーカイブス調査
- ・ 岐阜県中津川市加子母地域史料調査
  - 6 月 8 日～11 日（第 1 回）
  - 9 月 28 日～10 月 1 日（第 2 回）
  - 3 月 8 日～11 日（第 3 回）
  - ・ 岐阜県歴史資料館所蔵史料調査
  - 11 月 20 日～22 日
- ② 研究史料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
- ・ 茨城県立歴史館所蔵史料調査
  - 4 月 29 日
  - ・ 犬山城白帝文庫所蔵史料調査
  - 5 月 20 日～22 日（第 1 回）
  - 10 月 20 日～22 日（第 2 回）
  - ・ 名古屋市蓬左文庫所蔵史料の収集
  - 12 月 7 日
- ③ 収集史料データの整理および公開
- 岐阜県歴史資料館所蔵史料の複製本公開（高山陣屋文書のうち幕府林政関係史料 129 冊）

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

① 名古屋市蓬左文庫

徳川林政史研究所所蔵史料の一部を紙焼き及びデジタルデータで提供し、名古屋市蓬左文庫での閲覧公開に協力した。

② 犬山城白帝文庫

犬山城白帝文庫と研究協力に関する覚書を取り交わし、調査・研究事業を遂行した。5月21日には、合同研究会を開催し研究成果を共有した。10月20日には、非常勤研究生が「犬山城白帝文庫講座 古文書を読む1」に出講し、講座の講師を担当した。

③ (公財)徳川記念財団

徳川林政史研究所では、受託史料として、徳川宗家(旧将軍家)に伝来した史料、約5,130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された(公財)徳川記念財団が、調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。本年度は、(公財)徳川記念財団が実施した展示事業・閲覧など6件について協力した。

4月25日	「五星臨時調測量御用手伝之者之儀ニ付書付」4件	展示事業
6月12日	「関原御陳前書物」ほか2件	展示事業
7月23日	「大御所様崩御一件留」ほか15件	閲覧対応
8月31日	「大樹宛ちか子書状」1件	展示事業
10月12日	「幕朝年中行事歌合」ほか3件	展示事業
3月18日	「於吹上公事裁許上聴之次第」ほか8件	閲覧対応

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

① 犬山成瀬家人中野熊助関係文書の整理・目録の作成

計254件のカード目録が完成した。

② 尾張藩奥医師野間林庵関係文書の整理・目録の作成

総数339件のうち計123件のカード目録を作成した。

③ 旧蓬左文庫所蔵絵図の整理・目録の作成

再整理し、総数276件のうち計74件のカード目録を作成した。

④ 徳川林政史研究所収集史料の整理・目録の作成

総数4,750件のうち930件の出所情報のデータを入力した。

⑤ 旧名古屋税務監督局所蔵史料の整理・目録作成

総数3,312件のうち2,490件の番号確定作業が終了し目録を作成した。

⑥ 信濃国筑摩郡王滝村松原家文書の整理・目録の作成

総数8,005件のカード目録の作成が完了した。

⑦ 信濃国木曾史料の整理・目録の作成

見積総数約5,000件のうち計975件のカード目録を作成した。

⑧ 尾張国各郡史料の目録の作成

尾張国丹羽郡羽黒村吉野太郎家文書の目録を作成した(計50点)

尾張国丹羽郡天摩村文書の目録を作成した(計139点)

尾張国丹羽郡高木村文書の目録を作成した(計24点)

尾張国丹羽郡岩倉村文書の目録を作成した(計7点)

尾張国丹羽郡南山名村文書の目録を作成した(計6点)

尾張国丹羽郡西大海村文書の目録を作成した(計18点)

尾張国春日井郡八田新田藤田与七家文書の目録を作成した(計170点)

尾張国春日井郡下小田井村文書の目録を作成した（計 36 点）

尾張国春日井郡須賀口村文書の目録を作成した（計 41 点）

尾張国春日井郡和泉村文書の目録を作成した（計 98 点）

⑨ 三河国各郡史料の目録の作成

三河国碧海郡井内村文書の目録を作成した（計 30 点）

三河国碧海郡大浜村文書の目録を作成した（計 5 点）

三河国碧海郡伏見屋外新田文書の目録を作成した（計 8 点）

三河国碧海郡高浜村文書の目録を作成した（計 6 点）

⑩ 三河国額田郡小呂村文書の整理・目録の作成

全 58 件のうち 50 件のカード目録を作成した。

⑪ 尾張藩士森家文書の整理・目録の作成

※ 見積総数

各史料群の点数は、整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により、新たに史料が確認されて、点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては、現時点で「見積総数」と表記している。

(2) 所蔵史料の目録刊行

① 尾張徳川家文書目録（十五）を『金鯨叢書』第 46 輯（『研究紀要』第 53 号）に収録刊行した。

② 石河家文書目録（十二）を『金鯨叢書』第 46 輯（『研究紀要』第 53 号）に収録刊行した。

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

① 尾張徳川家文書のデータベース化

「尾 5」498 点のデータを入力した（見積総数 8,700 点のうち計 7,578 点完了）。

② 石河家文書のデータベース化

577 点のデータを入力した（見積総数 10,250 点のうち計 7,126 点完了）。

③ 信濃国筑摩郡王滝村松原家文書のデータベース化

454 点のデータを入力した（総数 8,005 点のうち計 5,705 点完了）。

④ その他の整理済み文書のデータベース化

・尾張家家臣志水家文書

全 188 点のデータを入力・完成した。

・尾張家家臣森家文書

全 57 点のデータを入力・完成した。

・尾張国海東郡蟹江本町村鈴木家文書

759 点のデータを入力した（見積総数約 7,000 点のうち計 2,236 点完了）

※ 見積総数

各史料群の点数は、整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により、新たに史料が確認されて、点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては、現時点で「見積総数」と表記している。

(4) 史料のデジタルデータ化

① 所蔵古写真（ガラス板）のデジタルデータ化（11 点 11 カット）

② 所蔵史料のデジタルデータ化

・外部委託

デジタル撮影「秋田柚子造材図」ほか 287 カット

・自館でのデジタルデータ化（デジタルマイクロリーダープリンター導入による）

「事蹟録」「勤王誘引書類」ほか 7,194 コマ

③ 調査収集史料写真のデジタルデータ化

岐阜県中津川市加子母地域史料（デジタルデータ約 5,640 コマ）

岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ約5,640コマ）

茨城県立歴史館所蔵史料（デジタルデータ5,819コマ）

犬山城白帝文庫所蔵史料（デジタルデータ5,618コマ）

徳川美術館所蔵史料（デジタルデータ829コマ）

名古屋市蓬左文庫所蔵史料（複写史料2,661枚）

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

① 購入

「名古屋城下図」 1点

「尾張徳川家史料」 20点

「木曾王瀧山御材木大川狩御勘定帳」 1点

② 補修

剥離絵図糊継ぎ補修 1点（図物乙「新御殿絵図」）

綴じ紐劣化史料の紐綴直し補修 116点（「礼儀類典」他旧蓬左文庫所蔵史料）

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

(7) 研究用図書の整理

① 図書整理

前年度に引き続き、図書・雑誌のコンピューター入力を進め、新着図書311冊に対し、ラベル貼付並びに入力作業を行った。

② 図書の購入・受贈

図書は『播州龍野藩儒家日記』等102冊を購入、その他寄贈された図書209冊。

雑誌は『歴史学研究』等170冊を購入、その他寄贈された雑誌364冊。

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 徳川林政史研究所公開講座（豊島区教育委員会共催）

9月6日	江戸中期の山村生活に見る人・家・つきあい	太田 尚宏
9月13日	将軍の言葉に見る幕末期の将軍と天皇	深井 雅海
9月20日	御山守からみた明治維新	芳賀 和樹
9月27日	戊辰戦争下における津軽と南部	萱場 真仁
10月11日	徳川慶勝・茂栄兄弟の徳川宗家救済活動	藤田 英昭

② 徳川美術館「徳川林政史研究所古文書入門講座」

6月16日	寛政の幕政改革と九代藩主宗睦	竹内 誠
6月23日	寛政改革期における隠密活動の実際	深井 雅海
6月30日	藩政改革と明君の群像	萱場 真仁
7月7日	尾張家の御家相続事情	白根 孝胤
7月14日	飛騨幕領の林政改革	芳賀 和樹
7月21日	戸山下屋敷をめぐる人間模様	藤田 英昭

③ 徳川美術館「江戸学講座」

11月17日	それぞれの明治維新	竹内 誠
12月8日	「江城請取顛末」からみた江戸開城	深井 雅海
1月26日	写真が語る徳川慶勝の幕末・明治	白根 孝胤
2月9日	慶応三、四年の尾張藩	藤田 英昭

④ 徳川林政史研究所公開講座 かしもの歴史講演会

9月28日	食べ物から見た“かしも生活”	太田 尚宏
9月28日	御山守内木家の植林活動	芳賀 和樹

⑤ 上廣歴史文化フォーラム ((公財)上廣倫理財団共催)

11月10日	大奥の実像	竹内 誠
11月10日	踊り子から将軍生母になった月光院	松尾 美恵子
11月10日	大奥老女・姉小路の政治力	深井 雅海
11月10日	天璋院篤姫の生き方	藤田 英昭

⑥ その他の講演

・ 竹内 誠

4月20日	江戸の暮らしに学ぶ	時事通信社内外情勢調査会松山支部
5月24日	西郷隆盛の因縁ばなし	江戸博友の会講演
6月7日	体験的な史料調査・保存・公開の歩み	国立公文書館国際アーカイブスの日 記念講演
7月7日	NHK大河ドラマ「西郷どん」の 歴史的背景	須坂市立博物館講演
9月28日	横綱について～その歴史と私の 見てきた横綱～	深川江戸資料館記念講演
10月1日	江戸の暮らしに学ぶ	時事通信社内外情勢調査会埼玉東支部
12月2日	「西郷像」を語る	台東区 西郷像建立 120周年記念講演
12月4日	犬山学に期待する	名古屋経済大学「犬山学ネットワーク」 発足記念講演
12月6日	江戸の暮らしと町づくり	四国クリエイト協会臨時総会特別講演

・ 深井 雅海

5月19日	広敷伊賀者と御庭番	伊賀市市民講座 忍者・忍術学講座
6月2日	江戸城の構造とその仕組み ～全3回	学習院さくらアカデミー
9月7日	古絵図でみる江戸城徳川将軍政治 空間～全6回	学習院さくらアカデミー
10月12日	広敷伊賀者と御庭番	調布市東部公民館歴史講座
10月13日	広敷伊賀者と御庭番	学習院さくらアカデミー
10月19日	御庭番の探索報告書	調布市東部公民館歴史講座
11月17日	御庭番の探索報告書	学習院さくらアカデミー
12月15日	御城坊主の日記に見る桜田門外の変	神奈川県土曜古文書会
2月15日	将軍と大名家との刀剣贈答	聖心女子学院生涯学習センター 文化講座
3月2日	将軍吉宗による刀剣コンクール	聖心女子学院生涯学習センター 文化講座

・ 藤田 英昭

7月8日	京都御上洛御供の節ふみうつし	神奈川県立公文書館古文書講座
8月12日	徳川旧臣と薩摩	すみだ文化講座
9月12日	江戸城明け渡しと大奥の女性たち	武蔵野大学
9月15日	江戸城無血開城	江戸楽アカデミー
9月26日	江戸開城とその後の幕臣の生き方	かわさき市民アカデミー
10月8日	西郷隆盛 その人と時代	明海大学オープンカレッジ
12月21日	明治維新の「勝者」と「敗者」	東洋大学大学院文学研究科
1月12日	駿河国の幕末維新	藤枝市郷土博物館
2月13日	幕末政治の舞台裏	武蔵野大学

(2) 外部機関などとの連携

- ・ 4月19日 東洋大学日本史卒論演習（近世・近代史）受講生・教員
- ・ 7月12日 学習院大学学芸員資格講座（博物館実習）の受講生・教員
- ・ 9月7日・14日 学習院さくらアカデミー  
（古絵図で見る江戸城徳川将軍の“政治”空間）受講者・講師
- ・ 10月19日 東京工業大学環境・社会理工学院・社会・人間科学系所属大学院生・教員
- ・ 1月17日 聖心女子大学学生（資料整理実習）・教員

※ その他、早稲田実業学校初等部生徒の「自由研究」を受け入れた。

(3) ホームページによる情報発信

徳川林政史研究所ホームページを更新し、『研究紀要』掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

(4) 出講・受嘱

① 出講

明海大学	日本の歴史（前期・後期）	藤田 英昭
学習院女子大学	学習院史（前期）	藤田 英昭

② 受嘱

東京大学史料編纂所共同研究員	藤田 英昭
勝海舟記念館（旧清明文庫）資料収集評価委員会委員	藤田 英昭

4. 若手研究者の育成

(1) 非常勤研究員・研究生による研究会の開催

① 夏季研究集会 7月27日 於（公財）上廣倫理財団三番町 UF ホール

研究者の心構えについて（研究不正防止講習）	竹内 誠
明治初年における旧庄内藩士族の動向	林 幸太郎
甲府城下町における江戸相撲興行の展開	齊藤 みのり
徳川慶勝が見た幕末の京都―所蔵史料紹介を兼ねて―	藤田 英昭
慶応四年における『入鹿切れ』とその復興	仲泉 剛
小唄にみる江戸女性の姿	中村 洋子
史料との出会いと研究テーマの発見（研究指導特別講話）	松尾 美恵子

② 春季研究集会 3月1日 於 雑司が谷地域文化創造館

旧庄内藩の士族授産―松ヶ岡開墾場と榊原十兵衛―	林 幸太郎
佐倉牧内矢作牧周辺村々における林産資源の管理と利用	高木 謙一
尾張藩医野間林庵家にみられる由緒意識	萱田 寛也
犬山城白帝文庫所蔵老中奉書に関する一考察	池ノ谷 匡祐
加子母内木家文書調査について	芳賀 和樹
内木家文書所収『御用状留』について―作業の進捗報告と記事内容の紹介―	萱場 真仁
川路高子について	渋谷 葉子

(2) 非常勤研究員・研究生による史料整理・目録作成作業

7月23日～8月3日 夏季集中史料整理（王滝村松原家文書・信濃国木曾史料）

2月18日～28日 春季集中史料整理（信濃国木曾史料）

(3) 非常勤研究員・研究生の名古屋研修の実施

7月20日～21日 研修先（名古屋市博物館・名古屋市蓬左文庫・徳川美術館）  
参加者 2名（本年度新規採用非常勤研究生）

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可数は48件、延べ閲覧者数は104人にのぼった。

(2) 所蔵史料の出陳

(3) 所蔵史料写真の貸出しおよび複写

① 所蔵史料写真の貸出し及び複写

受付総数計150件（林政史研究所直接受付145件、愛知県公文書館受付の紙焼き史料複写申請5件）

② 蓬左文庫受付の二次複写申請

受付総数計11件（DVDからの複写5件、紙焼き史料の複写6件）

(4) レファレンス対応

閲覧来所者及び電話でのレファレンスに対応した。

6. 補助金関係

(1) 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（特定奨励費）

申請者：（公財）徳川黎明会徳川林政史研究所

研究事業名：近世・近代の“森林管理システム”に関する調査・研究・普及事業

交付機関：（独）日本学術振興会\*

交付金額：10,400,000円

※平成26年度より特定奨励費の交付業務は文部科学省から（独）日本学術振興会へ移管されている。

(2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業

① 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(A)

研究課題名：高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究

交付機関：奈良国立博物館（（独）日本学術振興会）

交付金額：120,000円

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

② 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(A)

研究課題名：近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究

交付機関：東京国立博物館（（独）日本学術振興会）

交付金額：213,000円

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

③ 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(B)

研究課題名：東北型社会の特質に関する史的研究—地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して

交付機関：筑波大学（（独）日本学術振興会）

交付金額：300,000円

研究分担者：徳川林政史研究所 研究員 芳賀 和樹

④ 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(B)

研究課題名：パレオフォレストリーに基づく日本海地域のスギの成立および変遷要因の解明

交付機関：森林総合研究所（（独）日本学術振興会）

交付金額：350,000円（研究分担者の期中転出により、執行額273,560円 残額は転出先へ異動）

研究分担者：徳川林政史研究所 研究員 芳賀 和樹

⑤ 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(B)

研究課題名：江戸武家地の成熟過程に関する建築史・都市史的研究

交付機関：筑波大学（独）日本学術振興会

交付金額：250,000 円

研究分担者：徳川林政史研究所 非常勤研究員 渋谷 葉子

(3) その他の競争的資金および民間助成金等

助成金名：公益財団法人上廣倫理財団教育・研究・活動助成金

申請者：徳川林政史研究所 所長 竹内 誠

事業名：歴史学研究の発展に貢献できる若手研究者の育成

助成機関：(公財)上廣倫理財団

交付金額：5,000,000 円

7. 事業評価委員会の開催

3月15日、外部委員による事業評価委員会が開催され、徳川林政研究所が実施した本年度事業について評価・講評を受けた。

8. 資産取得

(1) 什器備品

ノートパソコン2台（購入1、受贈1）

シュレッダー1台（購入）

(2) 図書

購入102冊

受贈124冊

9. 設備管理

該当なし

10. 活動支援基金

(1) 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川林政史研究所の実施事業を対象にした募金活動を行った。本年度の実績は、以下のとおりである。

寄附公募期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附結果 380,000円（法人0件（0口）、個人20件（38口））

(2) 寄附金の使途

史料購入（前記2.(5)①） 「名古屋城下図」ほか計3件（合計22点）

史料補修（前記2.(5)②） 剥離絵図糊継ぎ補修1点（図物乙「新御殿絵図」）

綴じ紐劣化史料の紐綴じ直し補修116点（「礼儀類典」他旧蓬左文庫所蔵史料）

## II.収益目的事業

### [収益事業1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

#### 1. 不動産賃貸

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

### [収益事業2] ミュージアムショップ・宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

#### 1. ミュージアムショップの運営

オンラインショップを拡充し、展示品をモチーフにしたオリジナル商品の開発に協力するとともに、新規取引業者を開拓するなどの努力を行った。売上高対前年度比 90.7%、同予算対比 97.3%となった。

#### 2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

展覧会のテーマに合わせたメニューの開発やWEBサイト、SNS等での広報に努めた結果、売上高対前年度比 104.0%を達成した。

## 事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。